

令和 4 年度
「運営に関する計画」

大阪市立東小橋小学校
令和 4 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は「ひとりひとりを大切にし、豊かな心を育てる」を学校教育目標に、～人にやさしく、元気な『東小橋っ子』の育成～をめざす子ども像に掲げて、日々の教育活動に取り組んでいる。

1. 自らすすんで学習する子どもの育成

学力・体力の向上については、児童の実態に即して教員の授業力を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業を積み重ね、保護者や地域と連携を密に図りながら、取り組んできた。新型コロナウイルス感染拡大の中で、学年の実態や感染状況に応じて双方向によるオンライン学習を進めることができた経験を活かし、一人一台端末を利用した心の天気やデジタルドリルの効果的な活用を進めていきたい。

2. 仲間を大切にする子どもの育成

安全・安心の実現においては、地域の方々に子どもたちを知ってもらうことで身の安全にもつながる「元気なあいさつ」と自ら安全・安心な生活が送れることをめざした「防犯・防災」の指導を続けている。その結果、「すすんでしっかりとあいさつをしています」では、校内アンケートにおいて令和3年度末は90%以上の児童が「あいさつをしている」という肯定的回答をした。引き続き、「元気なあいさつ」が聞こえてくる学校づくりを目指して取り組んでいきたい。

3. 人の気持ちを考えて行動できる子どもの育成

常に自分自身と友達も含めて人の気持ちを考え、配慮しながら行動できるように指導をすすめ、「友達と仲よくしている」児童の割合をさらに増やしていきたい。

4. 最後までやりとおす子どもの育成

何事にも、ものごとを最後までやりとおす粘り強さとあきらめないという強い意志を育てていけるように指導を工夫していく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標(小・学校)

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校の年度目標

- ・年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

- ・令和7年度末の校内児童アンケートの「すすんでしっかりとあいさつをしています」の項目の肯定的な回答の割合を90%より向上させる。
- ・令和7年度末の校内児童アンケートで「けがや事故にあわないよう安全に気をつけている。」の項目の肯定的な回答の割合を85%より向上させる。
- ・令和7年度末の校内児童アンケートで「手洗いをしっかりとしている。」の項目の肯定的な回答の割合を85%より向上させる。
- ・令和7年度末の校内児童アンケートで「マナーを守って楽しくおいしく食べようとしている。」の項目の肯定的な回答の割合を85%より向上させる。
- ・令和7年度末、校内児童アンケートにおいて、「遠足や社会見学、芸術鑑賞などの学習が楽しい。」(1~4年)「遠足や社会見学、芸術鑑賞などの体験的な学習に楽しんで取り組んでいる。」(5, 6年)の肯定的な回答を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標(小学校)

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。

学校の年度目標

- ・令和7年度末、校内児童アンケートにおいて、「勉強をがんばっている。」の肯定的な回答を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標(小学校)

- ・令和7年度末の校内児童アンケートの「毎日、学習者用端末（一人一台タブレット）を使っている。」の項目に肯定的な回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・令和7年度末の校内児童アンケートの「週1回以上、学習者用端末（一人一台タブレット）を使って学習をしている。」の項目に肯定的な回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・令和7年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を、85%以上とする。

学校の年度目標

- ・令和7年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標(小・学校)

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校の年度目標

- ・年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ・令和4年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
- ・令和4年度末の校内児童アンケートの「すすんでしっかりとあいさつをしています」の項目の肯定的な回答の割合を85%より向上させる。
- ・令和4年度末の校内児童アンケートで「けがや事故にあわないよう安全に気をつけている。」の項目の肯定的な回答の割合を80%より向上させる。
- ・令和4年度末の校内児童アンケートで「手洗いをしっかりとしている。」の項目の肯定的な回答の割合を80%より向上させる。
- ・令和4年度末の校内児童アンケートで「マナーを守って楽しくおいしく食べようとしている。」の項目の肯定的な回答の割合を80%より向上させる。
- ・令和4年度末、校内児童アンケートにおいて、「遠足や社会見学、芸術鑑賞などの学習が楽しい。」（1～4年）「遠足や社会見学、芸術鑑賞などの体験的な学習に楽しんで取り組んでいる。」（5, 6年）の肯定的な回答を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標(小学校)

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。

学校の年度目標

- ・令和4年度末、校内児童アンケートにおいて、「勉強をがんばっている。」の肯定的な回答を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標(小学校)

- ・令和4年度末の校内児童アンケートの「毎日、学習者用端末（一人一台タブレット）を使っている。」の項目に肯定的な回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・令和4年度末の校内児童アンケートの「週1回以上、学習者用端末（一人一台タブレット）を使って学習をしている。」の項目に肯定的な回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・令和4年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を、80%以上とする。

学校の年度目標

- ・令和4年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立東小橋小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ・令和4年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 ・令和4年度末の校内児童アンケートの「すすんでしっかりとあいさつをしています」の項目の肯定的な回答の割合を85%より向上させる。 ・令和4年度末の校内児童アンケートで「けがや事故にあわないよう安全に気をつけている。」の項目の肯定的な回答の割合を80%より向上させる。 ・令和4年度末の校内児童アンケートで「手洗いをしっかりとしている。」の項目の肯定的な回答の割合を80%より向上させる。 ・令和4年度末の校内児童アンケートで「マナーを守って楽しくおいしく食べようとしている。」の項目の肯定的な回答の割合を80%より向上させる。 ・令和4年度末、校内児童アンケートにおいて、「遠足や社会見学、芸術鑑賞などの学習が楽しい。」（1～4年）「遠足や社会見学、芸術鑑賞などの体験的な学習に楽しんで取り組んでいる。」（5、6年）の肯定的な回答を80%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめのアンケート調査を定期的に実施し、当該児童からの訴えを的確に聞き取り、課題の解決を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめのアンケート調査を年間3回以上行う。 ・いじめのアンケート調査やいじめ早期発見のためのチェックリストを基にし、生活指導部会で方針を打ち出し、解消していく。 ・「いじめについて考える日」を設定し、いじめ防止の意識を高めるための特別活動や道徳授業を実施する。 	

<p>取組内容②【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 保護者との連絡を密にしながら、区役所（地域子育て支援）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、スクールカウンセラー、こども相談センターとの連携を図り、問題事象の解決を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象が起きた時の指導内容や保護者対応等の記録をとり、毎月の生活指導部で今後の指導・支援についての方法を打ち出す。 ・区役所（地域子育て支援）や子ども相談センターと連携を密にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 月別生活目標や、児童会の取り組みに「あいさつ」を位置づけ、学校の重点目標として指導を図り、あいさつをすすんでしっかりできる子を育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間2回以上の具体的な取り組みを実施する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 生活指導や委員会活動だけがや事故にあわないように学校生活を送る取り組みを行い、けがや事故を未然に防ぐ意識を持つことができる子を育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上、委員会活動で「安全な学校生活」についての取り組みを実施する。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 基本的な生活習慣の指導を行い、児童の健やかな成長を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣について、家庭への啓発をほけんだよりで年に11回以上行う。 ・給食週間に健康委員会による集会を開催する。 ・食育について、家庭への啓発を食育だよりで年に11回以上行う。 	
<p>取組内容⑥【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 芸術鑑賞会・体験学習・校外活動を行い、豊かな心の育成を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内における全学年対象の芸術鑑賞会を年に1回以上行う。 ・鑑賞会の実施後のアンケートにおいて、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式 2)

大阪市立東小橋小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35 %以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60 %以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 75 %以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度末、校内児童アンケートにおいて、「勉強をがんばっている。」の肯定的な回答を 80 %以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学習過程を質的に改善し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業を進める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内児童アンケートの①「国語の学習では、自分の考えを話したり書いたりしている。」（1～4 年）「国語の学習では、目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしている。」（5, 6 年）②「算数の学習では、新しい問題を自分から取り組んでいる。」（1～4 年）「算数の学習では、問題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。」（5, 6 年）それぞれの項目において肯定的な回答を 80 %以上にする。 <p>取組内容② 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学年に応じた家庭学習の時間を設定し、自らすすんで学習できる子どもを育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や電話や家庭訪問など、保護者と連携をし、学習習慣の確立をめざす。 ・校内児童アンケートの「自主学習に取り組んでいる」の肯定的回答を 85 %以上に 	

する。保護者学校生活アンケートの「お子さんは進んで学習する習慣が育っている」の達成度を4.0以上にする。

取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

外国語、外国語活動の授業において児童が「わかった。」「できるようになった。」と達成感を感じる授業を進めていく。

指標

- ・外国語、外国語活動の学習における各単元のアンケートにおいて、「できるようになった。」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

取組内容④【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

体育の授業において児童が「できるようになった。」と達成感を感じる授業を進めていく。

指標

- ・校内児童アンケートの③「音楽や体育などいろいろなことに挑戦し、できるようになってきている。」の項目において肯定的な回答を80%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立東小橋小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度末の校内児童アンケートの「毎日、学習者用端末（一人一台タブレット）を使っている。」の項目に肯定的な回答する児童の割合を 80 %以上にする。 令和 4 年度末の校内児童アンケートの「週 1 回以上、学習者用端末（一人一台タブレット）を使って学習をしている。」の項目に肯定的な回答する児童の割合を 80 %以上にする。 令和 4 年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を、80 %以上とする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 75 %以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びのポータル内の「心の天気」を各学年の実態に応じて活用する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心の天気」を毎日入力している児童の割合を 80 %以上とする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末（一人一台タブレット）のデジタルドリル等を各学年の実態に応じて活用する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 週に 1 回以上は学習者用端末を活用した学習を取り入れる。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各先生のニーズに合った研修を計画的に行っていく。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内研修を年間 10 回以上行う。 	
<p>取組内容④【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書タイムやブックバックを活用し、読書環境を整えていく。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間 10 冊以上の本を読んだと回答する児童の割合を 70 %以上とする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点